

2025年度 第3回大阪公立大学医学系研究等倫理審査委員会 議事要旨

開催日時：2025年7月17日（木）16：32～16：52

開催場所：あべのメディックス6階 臨床研究・イノベーション推進センター センター会議室

出席委員(敬称略、順不同)：

	氏名	性別	大阪公立大学の内外	医学系研究等倫理審査委員会設置者との利害関係	構成要件※	出欠
委員長	濱崎 考史	男	内	有	(1)	×
副委員長	森 隆	男	内	有	(1)	○
委員	榎本 大	男	内	有	(1)	○
	大藤 さとこ	女	内	有	(1)	○
	宮川 秀男	男	内	有	(1)	○
	佐藤 淑子	女	内	有	(1)	○
	川口 博資	男	内	有	(1)	○
	竹村 真紀子	女	外	無	(2)	○
	八木 香織	女	外	無	(2)	○
	沖田 章子	女	外	無	(3)	○
	上甲 恭子	女	外	無	(3)	○

上記委員の参加により、委員会は成立した。

※構成要件（大阪公立大学医学系研究等倫理審査委員会規程（以下「規程」という。）第5条）：

- (1) 医学・医療の専門家等自然科学の有識者
- (2) 倫理学・法律学の専門家等人文・社会科学の有識者
- (3) 研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者

なお、内部委員の1名、外部委員の4名は、規程第7条3項に基づき、オンラインにより参加した。

陪席：医学系研究等倫理審査委員会事務局、イノベーション創出部門 8名

【議事内容】

・利益相反の確認

事務局より、審議対象となる研究等に関係したり、当該研究に関与したりしている者と利害関係にある委員の確認が行われた。

議題：

1. 審議案件

(1)・新規申請

審議案件 1 件について、承認 1 件と判断された。

①	2025-064 (単機関研究)
課 題 名	若年成人期の糖摂取に伴う代謝系ホルモンの感受性に関する研究－体格や生活習慣が与える影響の検討
申 請 者	運動生体医学 吉川 貴仁
判 定	承認
意 見	特になし

2. 報告案件 (※個別課題は別紙参照)

(1) 倫理委員会 迅速審査結果報告 ※別紙 1

森副委員長より、迅速審査案件 4 件の審査結果 (承認 4 件) について報告された。

(2) 迅速審査委員会 迅速審査結果報告 ※別紙 2

大藤委員より、迅速審査案件 30 件の審査結果 (承認 30 件) について報告された。

(3) 軽微な変更申請

事務局より、研究者からの軽微な変更申請 3 件について報告された。

(4) 実施状況報告

事務局より、研究者からの実施状況報告 23 件について報告された。

(5) 研究終了報告

事務局より、研究者からの研究終了報告 16 件について報告された。

(6) 利益相反マネジメント委員会報告

事務局より、今回の審査案件に係る、利益相反マネジメント委員会での判定結果 2 件について報告された。

以上

倫理委員会 迅速審査結果

医学系研究等倫理審査委員会
委員長 濱崎 考史

次の申請事項について、迅速審査した結果は、以下のとおりです。
審査結果

(一部変更申請)

4 件

課題番号	課題名	研究責任者			委員会からの意見	答 申
2023-104	ヘリコバクター・ピロリ除菌後胃がんのリスクとなる嗜好歴、食物摂取、栄養状態、身体活動についての多施設共同症例対照研究	消化器内科学	講師	大谷 恒史	特になし	承認
2024-005	2型糖尿病患者における水溶性食物繊維(グアーガム分解物)摂取の影響を検証する多機関共同二重盲検プラセボ対照比較試験	中島こうやクリニック	院長	中島 孝哉	特になし	承認
2024-029	典型・非典型アルツハイマー病におけるフロルベタピルとAMYclzを用いた脳アミロイド画像解析の試み	脳神経内科学	教授	伊藤 義彰	特になし	承認
2024-112	アスピリン継続下での脊椎手術周術期安全性を検証する多施設共同ランダム化非盲検比較試験 ASPINE study	整形外科	講師	玉井 孝司	特になし	承認

※記載内容は申請時点のものとなる

作成者 : 研究推進課

迅速審査委員会 迅速審査結果

迅速審査委員会
委員長 大藤 さとこ

次の申請事項について、迅速審査した結果は、以下のとおりです。

審査結果

(新規申請)

14 件

課題番号	課 題 名	研究責任者			委員会からの意見	答 申
2025-041	外傷性腓損傷に対し普遍的に継続可能とするための当院の系統化かつ簡略化した治療戦略アプローチの成績の評価	救急医学	准教授	内田 健一郎	特になし	承認
2025-042	冠微小循環障害を有する患者における心血管・腎・代謝症候群リスク因子の検討	循環器内科学	教授	福田 大受	特になし	承認
2025-043	胆膵腫瘍に対する薬物療法についての後ろ向き観察研究	消化器内科学	病院講師	中田 晃暢	特になし	承認
2025-044	多発肺癌における環境因子の影響に関する研究	呼吸器内科学	教授	川口 知哉	特になし	承認
2025-045	乳腺腫瘍の増殖進展における遺伝子異常の解析	乳腺外科学	教授	柏木 伸一郎	特になし	承認
2025-048	大阪新生児診療相互援助システム(NMCS)によるネットワークの構築およびハイリスク児のアウトカム分析	発達小児医学	准教授	大西 聡	特になし	承認
2025-049	局所進行非小細胞肺癌における周期治療を含む手術治療および根治的放射線治療の治療選択に関する因子の観察研究	呼吸器内科学	教授	川口 知哉	特になし	承認
2025-050	外傷性頸部症候群の慢性化リスク予測: 受傷時頸椎X線画像を用いたDeep Learningアルゴリズム開発	整形外科	講師	玉井 孝司	特になし	承認
2025-051	大腸癌術後のカペシタビン＋オキサリプラチン療法における人参養栄湯のオキサリプラチン誘発性末梢神経障害予防に関する検討	薬剤部	薬剤師	松村 直人	特になし	承認
2025-052	成人の中耳慢性炎症性疾患における微生物叢のメタゲノム解析	ゲノム免疫学	教授	植松 智	特になし	承認
2025-053	腰椎HU値による骨粗鬆症の診断基準の確立と妥当性の検証	整形外科	講師	高橋 真治	特になし	承認
2025-054	リトシチニブで治療を行った円形脱毛症患者を対象とした後ろ向き観察研究	皮膚病態学	准教授	今西 久幹	特になし	承認

課題番号	課 題 名	研究責任者			委員会からの意見	答 申
2025-055	Clostridioides difficile 毒素遺伝子検査運用開始による臨床効果について	感染制御部	副主幹	仁木 誠	特になし	承認
2025-056	身体活動度と円形脱毛症の重症度・予後についての後ろ向き観察研究	皮膚病態学	准教授	今西 久幹	特になし	承認

(一部変更申請)

16 件

課題番号	課 題 名	研究責任者			委員会からの意見	答 申
2022	同種造血幹細胞移植の全例調査(研究名略称OCU11-A)	血液腫瘍制御学	准教授	中前 博久	特になし	承認
3146	乾癬性関節炎の発症および重症化リスク要因の調査	高齢者運動器変性疾患制御寄附講座	特任教授	岡野 匡志	特になし	承認
3886	気分障害、統合失調症の原因解明および診断法・治療法の開発に関する研究	神経精神医学	准教授	出口 裕彦	特になし	承認
2019-006	呼吸器腫瘍の増殖進展における遺伝子異常の解析	呼吸器外科学	教授	宗 淳一	特になし	承認
2020-048	日本小児整形外科学会疾患登録(JPOAレジストリー)	整形外科学	講師	新谷 康介	特になし	承認
2020-058	小児遺伝性血液疾患を対象とした前方視的研究	血液腫瘍制御学	教授	日野 雅之	特になし	承認
2021-261	前変形病変、変形性膝関節症患者に対する膝関節温存手術後成績に関する多施設研究	整形外科学	特任教授	橋本 祐介	特になし	承認
2022-043	慢性疾患患者におけるBIA法、DXA法を用いた体組成測定による栄養状態の評価及び身体的特徴の解明	発達小児医学	教授	濱崎 考史	特になし	承認
2023-072	眼窩炎症疾患における眼窩部構造評価について	視覚病態学	講師	田上 瑞記	特になし	承認
2023-138	胎児・乳幼児心筋症の分子病理特性の解明	寄生虫学	准教授	中釜 悠	特になし	承認
2023-142	肺非結核性抗酸菌症の診断における極細径気管支鏡の有用性に関する研究	呼吸器内科学	教授	川口 知哉	特になし	承認
2024-139	尋常性白斑患者を対象としたアンケート調査研究	皮膚病態学	教授	鶴田 大輔	特になし	承認

課題番号	課 題 名	研究責任者			委員会からの意見	答 申
2024-140	同種造血幹細胞移植後の非感染性脳炎・脳症に関する研究	血液腫瘍 制御学	病院講師	久野 雅智	特になし	承認
2024-188	FGFR2b陽性切除不能進行・再発の胃または食道胃接合部腺癌における臨床病理学的特徴を評価する前向き観察研究	消化器内 科	病院講師	中田 晃暢	特になし	承認
2025-007	腎移植患者における移植腎機能の予後因子の検討と個別化医療の確立を目的としたレジストリおよびバイオレポジトリの構築	泌尿器科	教授	内田 潤次	特になし	承認
2025-011	SMALL CHANGES行動減量療法の適応：医療従事者の健康増進と行動変容スキル習得のための研修に関する質的研究	発達小児 医学	講師	柚山 賀彦	特になし	承認

※記載内容は申請時点のものとなる

作成者 : 研究推進課